

「しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。」 (ローマ人への手紙 10 章 14 節)

#### 教会の皆様方へ

2010 年より日系人福音宣教協力会 (JEMS: Japanese Evangelical Missions Society) の日語部で主の働きをさせて頂いています。日本がクリスチャンの割合が1%に満たないですから、できるだけ多くの方々に福音を伝えたいと願っています。6 月に召天された前任者の稲山昭子姉と JEMS 日語部の活動を1年半共にすることで、その責任の重さや1つ1つの仕事の大切さを学ばせて頂きました。稲山姉もこのミニストリーの働きが継続していくことを望んでいたと確信しています。

JEMS 日語部の働きの中で中核をなす3つのミニストリー: 賛美大会、時報発行、マウント・ハーモン修養会のコーディネートに加え、伝道集会、日本語のトラクトの発送、メッセージやバイブル・スタディーの CD 発送など日語部の働きのために、オフィスで週に 20-30 時間の仕事をさせて頂きます。JEMS の全てのミニストリー・コーディネーター及びディレクターは自身で経済的支援を募ることになっています。日語部のコーディネーターとして給料、諸経費、ミニストリーの活動費を含め、一年間に\$22,000 を必要としています。通常ですと、必要額の 80%が満たされるまで JEMS のオフィスでその働きを始めることはできないのですが、日語部の活動の継続のために JEMS のサポートにより、すでに働きを始めています。経済的支援をして下さる方は JEMS 宛のチェックのメモ欄に「Minako Fujimoto Support」とご記入ください。

今年の夏には、東北大震災の津波で大きな被害を受けた宮城県志津川町を訪問する機会が与えられました。現地で被災者の方々の復興支援をしていらっしゃる牧師先生方のために祈り、また主にある希望を必要としている多くの被災者の方々に、福音を伝えたいと強く感じました。JEMS では被災地支援の働きにも参加をしています。詳細は JEMS オフィスまでお尋ねください。



#### 祈りのリクエスト

- 日語部の働きを通して、信仰者がおこされるように
- 津波で被害を受けた方々の支援に祈りが捧げられ、派遣される方々がおこされるように
- マウント・ハーモン修養会日語部の将来に対するビジョンが与えられるように
- 新しくおこされる日本語の教会と JEMS がパートナーシップを結ぶことができるように